

ネット 漂流

狙われた子どもたち

Vol.77

SNSの収益化プログラムの影



ネット情報技術推進ネットワーク株式会社
篠原 嘉一（しのはら・かいち）

TwitterがXと名前を変えてから仕組みが幾分変わってきている。2023年7月から収益化プログラムという仕組みで、日本では8月からタイムラインに表示される広告から得られる収益の一部を参加しているクリエイターにも配分されるようになった。

ただ、収益化プログラムを利用するためには一定の条件がある。その条件は厳しく、①Xプレミアムという有料加入者または承認済みの組織であること②フォロワーが500人以上であること③過去3カ月以内の投稿に対するインプレッションが500万件以上であること——等、一般利用者が収益を上げるには敷居の高い状況にある。しかし、Xを使用していて煩わしいと感じる広告の表示を非表示にできるメリットがXプレミアムにはある。

Xプレミアムは月額980円で利用できる有料サブスクリプションだ。加入特典で広告の非表示設定や投稿の修正機能が使え、Xに認めてもらって承認済みアカウントになることは難しいが、収益化プログラムに

参加するには、このサブスクに加入することで一歩前に進める。ただし、次のハードルが高い。②のフォロワー500人以上、③インプレッション500万件以上、というのが残っている。これまで長年投稿を続けてきたインフルエンサーなら条件をクリアできると思うが、なかなか難しいことだ。

そこで、条件を満たすために何が行われているか……少しでもフォロワーを増やそうとフェイクニュースや炎上覚悟の投稿など、SNSでの利益のために動く人たちがいる。1月に起きた北陸での震災、フェイク動画やコメントが問題になったが、この震災に便乗した投稿だと相当フォロワーが増える。たくさんフォロワーがついたアカウントを海外に転売することもある。目的は詐欺行為用アカウントのためでもある。Xをニュースアプリとして捉えている人には、この詐欺行為の投稿はかなり危険だ。この仕組みがフェイクニュースの目的ではないだろうか。ネットで稼ぐ……一歩間違えるとマナーやモラルを無視した行為になりかねない。

テレビのニュースなら訓練を受けた報道関

係者が情報を発信しているのだが、ネットニュースの一部にはフェイクと見分けのつけ難いものがある。テレビとネットを併用して利用するユーザーであればXやSNSの投稿を全てまに受けることもないと思うが、テレビを所有していない世代や見ない習慣の世代も増えてきている。その世代が今回の災害のような状況の時に、流れてくる情報を拡散させてしまい、より信ぴょう性の高い情報のように配信してしまう。日頃、投稿やフォロワーをしない人たちも、震災関連の投稿には前向きな協力をするのではないだろうか。悪意などない人も、詐欺投稿に加担してしまいかねない。

SNSの投稿の中には詐欺行為を目的とした投稿や広告があるが、詐欺行為を目的としたわけではなく、フォロワー数を増やしたいとの思いの投稿が収益化プログラムの影響で増えているようにも思える。

これからの時代、SNSは個人にとっても企業にとっても必要な仕組みではあるが、情報の見極め方を意識していないと世代にかかわらず詐欺被害に遭いかねない。

大きな災害が起きるたびに繰り返される詐欺投稿やフェイクニュース。決してイタズラ目的の愉快犯ばかりではない。何気ないフォロワーや、みんなに伝えたいと拡散させる行為が、次の犯罪につながり被害者を生む。インフルエンサーの投稿に安易なリプライをしたり、意味のない投稿でインプレッション数を増やしたりする行為がSNSサービスの品質を落としている。テレビや新聞の報道とは違うSNSの問題点を理解して、冷静に利用する姿勢が災害時ほど必要ではないだろうか。